

※このシートをそのままPDF化しますので、表のサイズ、フォントを変更しないでください。

技術情報PDFシート

技術情報欄 (Outline of Technology/Service)

技術/サービス名称 Name of Technology/Service	下水処理施設の運転管理、点検整備、水質管理サービス	情報入力欄 Information Entry field 下のスペースに技術/サービスの説明、画像等を入れる。 Enter the information and images of this technology/service in the box below.
対象分類 Objects	Z_水環境総合	
対象小分類 Objects (Sub-categories)	2_総合サービス	処理水質の要求水準を遵守しつつ、省エネ、省資源(薬品)を考慮した下水処理施設の包括的運転維持管理サービスを提供 ・流域下水道、公共下水道終末処理場の運転維持管理 ・中継ポンプ場、マンホールポンプ場の(緊急対応)維持管理
活動分類 Activities	99_分野無し	
技術特性・効果 Priorities	選択無し	
技術特性・効果 Priorities	選択無し	
技術特性・効果 Priorities	選択無し	
技術概要 Outline	処理水質の要求水準を遵守しつつ、省エネ、省資源(薬品)を考慮した下水処理施設の包括的運転維持管理サービスを提供 ・流域下水道、公共下水道終末処理場の運転維持管理 ・中継ポンプ場、マンホールポンプ場の(緊急対応)維持管理	
対応地域 Service Area	<input checked="" type="radio"/> 国内のみ (Only in Japan) <input type="radio"/> 海外対応可 (Overseas)	
情報更新年月日 (西暦) Date of Updating	2017/8/1	
連絡担当者 Person in charge of this information	廣江 吉信	
電話/e-mail Phone/e-mail	0749-26-9058 siga@jme-net.co.jp	
関連情報サイト Related Information Site	http://www.jme-net.co.jp/maintenance-drain.html	
事業者情報欄 (Profile of Provider)		
事業者 Provider	日本メンテナンスエンジニアリング株式会社	
ふりがな (全角ひらがな)	にほんめんてなすえんじにやりんぐかぶしきがいしゃ	
郵便番号 (XXX-XXXX) Zip Code	530-0035	
所在地 Address	大阪市北区同心1丁目7番14号	
電話 Telephone	06-6355-3000	
FAX (Facsimile)	06-6882-5568	
URL	http://www.jme-net.co.jp/	

業務範囲		
運營業務	運転管理業務	保守点検業務
環境計測業務	環境整備業務	保全管理業務
物品管理調達業務	緊急対応業務	施設修繕業務
施設台帳の整備		



【処理施設の運転管理】

処理施設は、24時間、365日休むことなく稼働しています。処理施設により、流入水量、流入水質は様々で、時間的、季節的に大きく変動するため、効率的運転と最良の放流水質を維持するためには、専門知識及び経験を必要としています。弊社は、長年に渡り積み重ねてきた高い技術力により、水質、各設備、汚泥処理等、総合的に判断し、効率的な運転管理を行います。



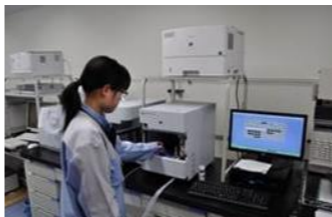
【点検整備】(保守点検・維持修繕)

処理施設には、ポンプ設備、消化タンク、汚泥脱水機等の機械設備及び各種電気設備など膨大な数の機器設備が設置されています。弊社では、保守点検基準、定期点検計画等を作成し、この計画に基づき効率的な保守点検及び修繕を提案します。また、事前に設備診断を行い予防保全を図ると共に計画的な改築更新の提案を行う事が可能です。



【管理・点検】

中継ポンプ場やマンホールポンプは、汚水を下水道処理場に送る重要な役割を担っているため、適切な運転管理や修理・点検が必要です。処理施設同様に弊社では高い技術力と専門知識及び経験を生かし、効率的な管理・点検を行います。また、日常の点検作業、マンホールポンプ場の清掃、定期点検はもちろんのこと、ポンプ故障等による緊急時に於いても、24時間体制で対応が可能です。



【水質管理】

処理施設の運転にあたり、効率的運転と最良の放流水質を維持するためには、各処理工程での適切な水質管理が必要です。弊社では、法定検査を初めとする水質・土壌・大気の種類分析機関として計量証明事業を行っており、定期あるいは臨時の水質検査により、処理状況の変化を迅速に捉え、対応が可能です。また、得られたデータは処理施設の適正な維持管理に活用し、「水質汚濁防止法」などに定められている放流水の排出基準に適合するように水質管理を行います。